

論文審査の要旨

報告番号	㊦・乙 第 2908 号	氏名	古賀 康史
論文審査担当者	主査 稲垣 克記 教授 副査 大塚 成人 教授 副査 土肥 謙二 教授		
(論文審査の要旨)			
<p>虚血再灌流障害において血管内皮細胞の変化は、皮弁の生着や壊死に重要な役割を持ち、VLA-4 は、リンパ球などの炎症部位への遊走、浸潤に重要な役割を担っている。今回虚血再灌流障害皮弁モデルを用いて抗 VLA-4 抗体投与による炎症反応軽減の有無や程度について研究した。ラットの右鼠径部に皮弁を作成し 9 時間後クランプを解除し再灌流を行った。ラットは再灌流 15 分前に尾静脈より抗 VLA-4 抗体投与の治療群、生食投与の対照群、同一条件で 5 分間クランプを行ったシャム群に分けた。経過観察は 7 日間とした。皮弁生着面積の比較では治療群で $78.0 \pm 39.8\%$ と対照群に比べ有意に生着領域の向上が認められた。組織学的所見は対照群で強い炎症細胞浸潤・浮腫などの所見が認められたが、治療群では炎症所見は認められるものの軽度でシャム群に近い組織構造を呈した。抗 VLA-4 抗体投与により、炎症期における血管内皮細胞と白血球との接着が阻害され、その後のローリング現象のブロッキングによる炎症軽減効果が得られたものと推測された。</p> <p>本論文は、インテグリンスーパーファミリーである VLA-4 に対する抗 VLA-4 抗体単独投与による炎症軽減の可能性についての新しい知見を得ており、学術上価値のあるものと考えられ、学位論文に値すると判断した。</p> <p>論文題名 : Monoclonal Antibody to Very Late Antigen-4 (VLA-4) Protects Skin Flaps Against Ischemia-Reperfusion Injury: An Experimental Study in Rats (抗 VLA-4 抗体投与によるラット虚血再灌流障害皮弁モデルの炎症軽減効果に関する研究)</p> <p>掲載雑誌名 : THE SHOWA UNIVERSITY JOURNAL OF MEDICAL SCIENCES Vol. 29 No. 4 (2017 年 12 月 発刊) 掲載予定</p>			

(主査が記載、500 字以内)